

1. 3 ソフトウェア（オープンソースソフトウェア）

問題3 【解答：ア】

- ・ BSD ライセンス（Berkeley Software Distribution License）
 - ：無保障であることと、著作権及びライセンス条文を表示すれば、自由に複製／再配布／改変をできるライセンスである。条件を満たして入れば、改変したソフトウェアのソースコードを公開せずに再配布できるなど、若干特殊な規定がある。（正解）
- ・ GPL（GNU General Public License）
 - ：フリーソフトウェア財団（FSF：Free Software Foundation）が作成したライセンスで、自由に利用できるソフトウェアに対して適用される。GPL のソフトウェアを改変して再配布する場合には、必ず GPL を適用しなければならない。
- ・ サイトライセンス
 - ：企業や団体などの複数のコンピュータやユーザでのソフトウェアの使用を、一括して認める契約である。コーポレートライセンス契約とも呼ばれる。
- ・ ボリュームライセンス
 - ：ソフトウェアの大量購入者（企業など）向けに、マスタを 1 セット提供して、インストールできるコンピュータの台数をあらかじめ取り決めておく契約である。

問題4 【解答：ア】

- ・ Linux
 - ：UNIX の考え方を PC 用に改良した OS で、代表的なオープンソースソフトウェア（OSS）である。中核となるプログラム（カーネル）が無償で配布されている。（正解）
- ・ Mac OS
 - ：アップル社の PC（Macintosh）ように開発された OS である。
- ・ UNIX
 - ：AT&T ベル k 連休所が開発した OS で、使用は公開されているが、OSS ではない。
- ・ Windows
 - ：マイクロソフト社が開発した OS で、ウィンドウシステムや多彩なアイコンが特徴である。

問題5 【解答：エ】

OSS（Open Source Software）は、ソフトウェア製品を限りなく無償に近い形で普及させるオープンソースという考え方に基づいて作成されたソフトウェアである。オープンソースの要件として、非営利組織の OSI（Open Source Initiative）が定義した OSD（the Open Source Definition）がある。

- a：OSD の要件に、“2. ソースコードを入手できること”とあるので、コンパイル済みのバイナリ形式だけで入手できる方法ではなくソースコードを入手できるようにする。
 - b：OSD の要件に、“5. 個人やグループを差別しないこと”、“6. 適用領域に基づいた差別をしないこと”とあるので、利用分野又は使用者を制限することはできない。
 - c：代表的な OSS には、OS の Linux、Web サーバの Apache HTTP Server、データベースの PostgreSQL、スクリプト言語の Perl/PHP/Python 等がある。（適切）
- したがって、OSS に関する記述のうち、適切なものは「c」である。

問題6 【解答：イ】

オープンソースソフトウェアに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 一定の試用期間の間は無料で利用することができるが、継続して利用するには料金を支払う必要がある。
- イ. 公開されているソースコードは入手後、改良してもよい。
- ウ. 著作権が放棄されている。
- エ. 有償のサポートサービスは受けられない特定製品に依存してもよい。

問題7 【解答：ア】

インターネット上などで利用されるシステムを構成するオープンソースソフトウェアの組み合わせとして、代表的なものに、LAMP と LAPP がある。LAMP は、OS に Linux、Web サーバに「Apache」、データベースに「MySQL」、スクリプト言語に「Perl」か PHP/Python を利用する組み合わせである。

イ：“BIND”は、DNS サーバで利用するオープンソースソフトウェアである。

ウ：“Chrome”は、WWWブラウザで利用するオープンソースソフトウェアである。

エ：“FireFox”は WWW ブラウザで、“sendmail”はメールサーバで利用するオープンソースソフトウェアである。また“XML”はマークアップ言語である。